

松本市市民活動

サポートセンター通信

NO.22

発行：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

第1回ふれあいサロン 7月17日

サポートセンターがマーケットに！

「ぴあねっと・まつもと」と「ふれあいマーケット」との共催で、障害者と市民との交流の場「ふれあいサロン」を開催します。

昼の部では、就労支援施設で働く仲間たちが、手作りの生產品を持ち寄り共同販売します。売って、買って、食べて、交流しながら感想を語り合しましょう。

夜の部では、支援者による名刺交換、意見交換など活動者の交流会を予定しています。

昼の部 12:00～14:00

展示即売会

夜の部 18:30～21:00

活動者交流会



夏休み子ども体験講座 7月25日・26日 / 8月8日

この夏、サポートセンターでは、登録団体との協働で夏休みに市民活動を体験してもらおうと、子ども向けプログラムを企画しました。

ギャラリーてくてく「やってみよう、作ってみよう」**募集中**
クラフト製作など障害者就労支援施設のプログラムに参加しながら「てくてく」の仲間と交流します。

日時：7/25(土) 10時～12時

場所：ギャラリーてくてく 参加費 500円

信州八チドリねっと湧～「親子でマイはし作り」**締切**

日時：7/26(日) 10時～12時

場所：市民活動サポートセンター

食育ネットワーク松本「親子料理教室」**締切**

日時：8/8(土) 10時～13時

場所：なんなんひろば

登録団体 200団体達成!!

市民活動サポートセンターが平成17年9月22日にオープンし、この春で3年半が過ぎました。この間多くの市民の皆さまから励ましの言葉や数々の助言をいただきました。おかげさまで利用者数も延べ5万人を超え、登録団体数も6月末現在で202団体を数えるまでになりました。

ご利用いただきました多くの市民、並びに市民活動団体の皆さま、また運営や事業開催にあたりご指導ご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。

活動分野	団体数
医療・福祉分野	44
子どもの健全育成分野	26
環境保全分野	24
文化・芸術・スポーツ分野	24
まちづくり活動分野	22
人権・平和分野	16
国際協力分野	10
その他	36
計	202

<表1> 分野別登録状況

登録団体の活動分野については、<表1>のように分類されます。分野別の割合は、「医療・福祉分野」が22%と最も多く、次いで「子どもの健全育成分野」が13%となっています。また、全登録団体のうち市民団体・サークルが46%、NPO法人は36%、ボランティア団体が10%となっているなど、NPO法人だけでなく、任意の団体やサークルが多く登録しているのも当センターの特徴です。特に信大の学生サークルや塩尻市、安曇野市の団体も登録しているなど、若い人たちや広域の方々にも活用されています。

団体種類	団体数
市民団体・サークル	91
NPO法人	72
ボランティア	20
その他	18

<表2> 団体の種類

このコーナーでは、当センターに団体登録のある、さまざまな活動団体をご紹介します!!
今回、お話をうかがったのは、「NPO法人しろがね」と「インターナショナルハンドシェイク」の両団体です。

NPO法人 しろがね

連絡先 蟻ヶ崎児童館
TEL/FAX : 0263-32-6264

松本市が児童館運営のため指定管理者を募集したのが平成18年。その際には他県のNPO法人が運営することに決まった。それを知った町会の役員らは、「地域子ども達を、地域の人の手で育てていきたい」と、自分達でNPO法人を設立することを決めた。NPO法人「しろがね」が法人資格を取得したのは平成20年6月、そしてこの4月から、蟻ヶ崎児童館の運営を担っている。

活動内容は、大きく3つに分けられる。

1つ目は、児童館運営である。0歳から18歳までの一般児童の遊び場の提供をしており、1日平均30~40人が利用している。

2つ目は、放課後児童育成事業で、登録している留守家庭の児童が学校から直接来る。夏休みなど長期休みには10人以上が集まる。

3つ目は、「つどいのひろば」と呼ばれるもので、就園前の親子を対象にした遊び場の提供と、子育て相談や講習会などである。

「しろがね」は、地元町会が母体となっているだけに、地域の方々との縁の深さを生かした活動をしている。お花見や館祭りなどは以前から行っていた



が、今年度より「わらべの会」という会を設け、地域のお年寄りや主婦らが子ども達との交流を深める日をつくった。学校が一斉下校となる水曜日には、地域の方に来ていただき、ボランテ

ィアの手作りによるおやつをみんなで食べるというものだ。訪問させていただいた日のメニューは、大根葉としらすの「若葉おにぎり」。お腹を空かせた子ども達は、手渡されるおにぎりを美味しそうにほおばっていた。「今日はおやつの日だから来たの。」と喜ぶ子どもの顔を見て、「普段は一人で食べている。大勢で食べるとおいしいね。」と言うお年寄りの笑顔がとても印象に残った。

取材を受けてくださった館長の由井三佐子さんは、「一緒に食事をしたからと言ってすぐ何かの形になるものではないけれど、この風景は子どもの心に残るはず。地域の温かさが伝わるような息の長い活動を目指していきます。」と話してくれた。

インターナショナルハンドシェイク

連絡先 TEL/FAX : 0263-58-8977
<http://interhand.org>

梅雨の晴れ間の6月20日。松本市の中心にある中央公民館を挟む路地が歩行者天国となり、オープンカフェが現れた。置かれたテーブルには、それぞれ違うテーマが書かれ参加者はそのテーマを選んで座る。自己紹介から始まり会話がはずむ。ステージでは、トークや音楽発表が行われている。コーヒーなどのドリンクやお菓子、また手作りケーキなども並び、通りがかりの人を混ぜてのオープンなイベント。集まる人々も市民のみならず国際色豊かだ。これは、中央公民館が「ゆめ実験室」の一環として、「インターナショナルハンドシェイク」のギリス夫妻らと企画したものだ。

「インターナショナルハンドシェイク」は、数年前から松本地域を中心に活動している団体だ。他県や海外に住んでいた経験を生かし、この松本でもディスカッション等を通して心のふれあいの場を作り



歩行者天国でのカフェ

たいと始めた。他の国に比べ、日本人の国民性は、きっかけがないと口を開かないという。自殺者の増加など人間関係の希薄さが問題になる昨今ではあるが、「場を作れば誰でも積極的になれる」と、国際交流を目的にイングリッシュディスカッションやムービーディスカッションを地道に行ってきた。実際6月のカフェでは、たどたどしい英語でも会話しようとする姿もあった。

今年の春、サポートセンターで行ったイベントも、国や世代を超えた交流を目的に開催され、学生ボランティア等も多く集まった。このようなイベントには、留学生に限らず、市内に在住している多国籍の人々、特に単身赴任で日本に来ている方にこそ多く参加していただきたいと真由美ギリスさんは言う。格差問題など、苦勞している方の精神的サポートをしていきたいからだ。

今まではディスカッション中心に行ってきたが、昨秋はボランティアと共に湧水の水巡りなどもした。今後もっと幅広い活動をしていくためにも、様々な分野で活動をしている方と交流していきたいと話していた。

～ 松本市ボランティアセンターからのご案内！！～

傾聴ボランティア養成研修



「人は、話すことで元気になれるのです」

開催日 平成21年9月8日(火)～9日(水)
会場 長野県松本合同庁舎 講堂 (松本市大字島立1020)
申し込み 松本保健福祉事務所 福祉課 (TEL40-1911)

< 問合せ >
松本市ボランティアセンター
TEL25-7311



傾聴ボランティアとは？

「相手との信頼関係を前提に、きちんと相手を受け止めて聴く」ボランティアです。
そのための技術やコツを身につける研修受講者を募集します。
話をすることは、精神的健康の維持や回復に有効であると言われています。

輝く団体、突撃レポート!!

～ 映画『ふみこの海』 上映会 ～

映画『ふみ子の海』は、聴覚障害、視覚障害のある方も楽しめるように字幕と副音声(場面解説音声)を入れたバリアフリー映画だ。「障害の有る人を特別扱いせずに、障害の有無・種別によらず同じ人として関わっていく考え方を持ってもらいたい」と願う映画『ふみ子の海』上映まつもと実行委員会が上映を企画した。また、障害のあるなしに関わらず、“一緒に映画を楽しむ事”を一つのきっかけにしていこうという試みでもある。

映画『ふみ子の海』は、新潟県在住のエッセイスト市川信夫氏が書いた小説を映画化したもので、ふみ子という全盲の女性が明るく前向きな人生を生き抜いたことを、幼年期から少女期を中心に描いたドラマである。ふみ子のモデルとなった女性の粟津キヨさんは、新潟県の山村に生まれ、幼少期に失明され高田盲学校を卒業。その後、東京女子大学に入学。卒業後は、母校の新潟県立高田盲学校の教師として重複障害児の教育に全力を尽くした。

また、戦前戦後を通して、とくに視覚障害女性に対する差別意識と偏見が強かった時代に、視覚障害女性の地位の向上にも尽力した人である。



今回は、映画『ふみ子の海』上映まつもと実行委員会
が上映した、映画『ふみ子の海』に突撃レポート!!

上映当日、客席はほぼ満席。
身体障害者通所授産施設である
『ふれっ手』などの物品販売の
ブースにもぎわっていた。



私自身、副音声で映画を見たのは初めてだったが、後ろの席でも思っていたより見やすく、副音声も気にはならなかった。また、チケットには点字の標記もあり、心配りを感じた。

ストーリーも本当に感動するものだった。人間の真の強さを考えさせられた。上映後、観客からは、『涙が止まらなかった。』『元気をたくさんもらった。』『音声ガイドのある映画がもっと増えたらいいと思う。』などの感想があがっていた。

主催者からは、「同じ作品をみんなで共に楽しむことに成功したことが大きな成果」と喜びの声も届いた。

私も、映画『ふみ子の海』を、もっと多くの人に見てもらい、バリアフリーに対する意識が広がってほしいと思う。また、今回のようなバリアフリーで副音声のある映画が珍しいものではなく、一般的なものになることを願う。

(Y.K.)

< 問合せ >

『ふみ子の海』上映まつもと実行委員会

TEL : 0263-45-0227 FAX : 0263-45-0228



イベント情報をお寄せください！

センター通信やホームページにて、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。
多くの皆さんからの多くの情報をお待ちしています。



～GO！ME！運動～

誰か拾ってくれる、1人だとハズカシイ、面倒くさいと目をそらしてしまいがち!!そこで「GO ME 運動」

皆で一緒に楽しくをモットーに楽しく街のゴミを拾う運動!!「GO ME 運動」を開催。

日 時：7月25日(土) 8:30～9:30

場 所：松本城周辺

集 合：松本市役所大手事務所 1F

雨天の場合は、翌日の同時間の開催となります。

持ち物：空ペットボトル・軍手

申込み：代表者名、連絡先、参加人数をご連絡ください。

問合せ：松本アルプス大学準備室

TEL：090-4159-0202(担当 波多腰)

～たかはしべんコンサート～

8月29日は子ども劇場で楽しいことがいっぱい!

プロによる生の作品を親子で楽しめます。

子ども劇場は会員制の会です。舞台を見たり遊び会に参加するにはまず入会が必要です。いつでもどなたでも会員になれます!!

日 時：8月29日(土) 15:30 開演

場 所：ゆめひろば庄内

入会費：500円

月会費：1,200円 大人も子どもも同額です。

問合せ：松本子ども劇場

〒390-0812 松本市県 1-3-4

TEL：0263-33-3423 FAX：0263-33-0048



～映画『嗚呼 満蒙開拓団』～

1945年までに旧満州に入植された日本移民が約27万人いたといわれています。その悲劇を関係者の証言から、日本の近現代史を振り返ります。

日 時：7月25日(土) 10:30～ 13:30～

7月26日(日) 10:30～ 13:30～

場 所：Mウイング6階ホール

参加費：前売り券 大人1,400円

当日券 大人1,800円 学生1,400円

～映画『4分の1の奇跡』～

養護学校教諭のかっこちゃんと、子どもたちとの触れ合い。その中には命の神秘さ・生まれてきた理由・ひとりひとりの大切さ...など、命について考えさせられるドキュメンタリー映画です。

日 時：7月19日(日) 13:30～15:30

場 所：塩尻市総合文化センター

会 費：500円

問合せ：塩尻市役所

TEL：0263-52-0280

～夏祭り～

2009年コムハウスの夏祭りです。シンガー「美咲」さんの出演や人形劇、パザーなど盛りだくさんです。

また、当日アルミ缶・牛乳パックをお持ちいただいた方に特典があります!!

日 時：7月25日(土) 10:00～14:00

場 所：コムハウス(寿台公民館近く)

問合せ：コムハウス

TEL：0263-85-2234

～3歳から楽しむ身近な自然観察会～

公園でのネイチャーゲームや万華鏡づくりなど、様々な感覚を使って遊ぶ、簡単で楽しい自然観察の方法を紹介します。家族で出かけたときや、親戚の子が来た時等に、お散歩しながら気軽にできるものばかりです。

一緒に楽しく自然を感じましょう。

日 時：7月25日(土) 9:30～11:30

雨天は翌日に延期となります。

場 所：歌碑公園(塩尻短歌館横)

会 費：2人1組 1,000円(3人目以降+300円/人)

対 象：3歳～小学校3年生までとその保護者

それ以外の方も相談にのります。

定 員：10組(先着順になります)

申込み：7月21日(火)までにE-mail又は電話・FAXにて

名前(ふりがな) 生年月日 住所

連絡先をご記入の上、下記までお申し込みく

ださい。

問合せ：持続可能な松本平創造カンパニーわおん

〒399-0704 塩尻市広丘郷原 685

TEL/FAX 050-3004-2388 緊急 090-4026-4261

E-mail waon@hotmail.co.jp

http://waon.naganoblog.jp/

編集後記

7月7日は七夕。松本では8月に月遅れの七夕も行われますが...。雨が降って天の川が増水しても、裾をはしよりあげたカータリが川を渡してくれるというのも素敵なお話です。他県からきた私は餡子をのせた「ほうとう」を食べるのには驚きました。博物館の七夕展に合わせて、街中のあちこちに七夕人形を飾っている商店や家が見られます。浴衣姿で街中散歩もいいですね。(き)